

参考資料

創意工夫功労者賞 受賞者の業績概要

◎ 井手食品有限会社 ^{つる}鶴 ^{えみこ}恵美子 氏

<業績名> うま味強化トマト味噌ペーストの製造技術の考案

【創意工夫の内容】

地場産トマトと味噌を組み合わせた「トマト味噌ペースト」の開発に際し、調味料をできるだけ最小限に抑え、トマト本来の旨みをさらに引き出すことに試行錯誤している時、トマトの前加工処理でトマトを凍結処理するとうま味や糖度が増すことを発見し、うま味が強化されたトマト味噌ペーストの製造技術を確立することができた。

【創意工夫の実績】

トマトのうま味が明確に強化されたトマト味噌ペーストとなり、高売り上げ商品となった。また、使用した完熟トマトは年に1回、夏前にしか収穫されないため、旬の時期に一括購入し、自社独自の処理方法で下処理をした後、冷凍庫で長期保管することで、需要に応じて品質の一貫性を確保した。

◎ 小糸九州株式会社 ^{しげた}重田 ^{きょうすけ}恭助 氏

<業績名> 締付エアシリンダ制御変更による締付ミス改善

【創意工夫の内容】

ビス締付機にてビスを受け渡しする際に、エアシリンダの動き出し速度が速いため、受け渡しに失敗することが1日のうちに複数回発生していた。今回、エアシリンダの給気側に調整弁を追加することでエアシリンダの動き出し速度の制御ができる工夫を施した。

【創意工夫の実績】

安定したビスの受け渡しが可能となり、手直しに係る時間を削減できた。また、現状設置されている弁を改良する形で改善を行ったため、改善費用の低減にも繋がった。

◎ 小糸九州株式会社 ^{すえつぐ}末次 ^{たかのり}高典 氏

<業績名>新製品の誤組付け未然防止策の考案

【創意工夫の内容】

新製品立ち上げに際し、2種類の同機能部品が同じ製造ラインで生産されることになり、誤組付け不具合発生懸念があった。誤って組付けてしまった場合にはラインの生産性が低下する恐れがあることから、組付ける前段階での「類似部品の誤取り出し未然防止策」を考案した。

社内にある部材を使用して、簡単に可動でき必要な部品のみを取り出せる遮断式の仕様とし、目視でも確認可能な表示をつけた。

【創意工夫の実績】

「類似部品の誤取り出し未然防止策」を考案したことで、量産試作段階での誤組付けは発生していない。

◎ 小糸九州株式会社 ^{たけだ}武田 ^{ともき}朋輝 氏

<業績名>エアブロー機の異物除去能力向上の考案

【創意工夫の内容】

ランプの外観品質確保のため、エアブロー機で異物を除去している。ランプ形状によっては、エア吹口を適切な位置へ設置することができず異物不良が発生していた。

3Dプリンターを用い、受け治具内にエア経路を設けエア吹口を一体化させた治具を開発した。

【創意工夫の実績】

受け治具とエア吹口を一体化させたため、エア吹口の調整時間が短縮できた。また、異物除去を確実に行うことができるようになり、工程内の異物不良が減少した。

◎ 小糸九州株式会社 ^{にしやま} 西山 ^{だいき} 大貴 氏

<業績名>シューター衝撃レス機構による部品廃棄低減改善

【創意工夫の内容】

部品箱を作業者の手元へ搬送するため、搬送ローラーに傾斜をつけて部品箱が自重で流れるようにしているが、作業者の手元に流れてくる際の衝撃により部品箱の傷や折れが発生し部品廃棄に繋がっている。

部品箱が来たことを光電センサーで検知してロッドレスシリンダが稼働する機構を開発し、箱に衝撃を与えずに作業者の手元まで部品を流すことができるようになった。

【創意工夫の実績】

部品箱の破損が無くなり、部品廃棄費用を削減することができた。